保証書付

住まいの夢を創る
クリナップ®

取扱説明書

流し台

ステンキャビキッチン®

木キャビキッチン
クリンウッド® シリーズ

このたびはクリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、みなさまに商品を安全にそして長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。
ご使用前には必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

Cleanup®

W102313000

適応機種

この取扱説明書は以下の商品に適応します。

「ステンキャビキッチン」「木キャビキッチン クリンウッドシリーズ」

もくじ

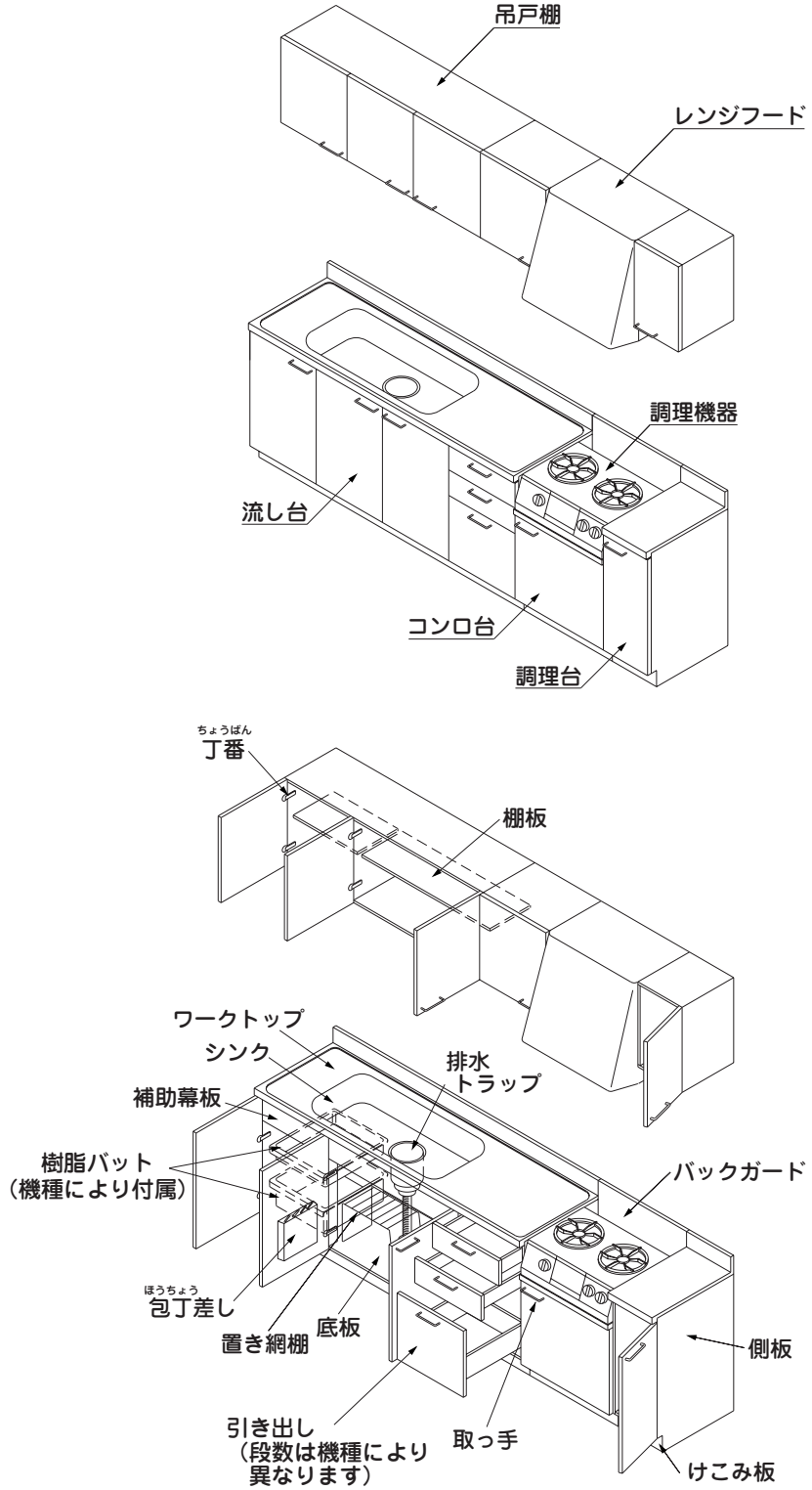
●各部のなまえ ……2
キッチンセットの参考図……2
●安全にお使いいただくために……3〜6
●ご使用方法について ……7〜14
排水トラップの使い方……7
棚板の取り外しと取り付けのしかた……8
扉の調整のしかた ……9
取っ手の調整のしかた……9
引き出しの脱着・引き出し前板の調整のしかた ……10〜11
包丁差しの使い方 ……11
ムーブダウン吊戸棚の使い方……12〜13
ワークトップ上に炊飯器などを置いて使う場合 ……13
さびやきずなどを防ぐために ……14
●お手入れ方法について……15〜16
木製キャビネット、扉のお手入れ ……15
ステンレスキャビネット、ステレンススシンク、ステンレンスワークトップのお手入れ ……15
樹脂部品のお手入れ ……15
丁番のお手入れ ……16
機器類のお手入れ ……16
その他の機器のお手入れ……16
●修理を依頼するとき ……17
●廃棄処分について ……17
●保証書について……18

各部のなまえ

この取扱説明書では、使用上支障のない範囲で略図を使用し、または一部実際の商品と異なる部分があります。ご不明な点は、お手数ですが裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

下図は、キッチンセットの参考図です。商品・種類によって左右勝手・扉・シンクなどが下図と異なります。

■キッチンセットの参考図



※このほか、機種によって次のものが付属します。

●スライドサポートシンク…調理サポートプレート（樹脂製）
水切りメッシュプレート（ステンレス線材）

安全にお使いいただくために

安全上のご注意 （必ずお守りください）

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

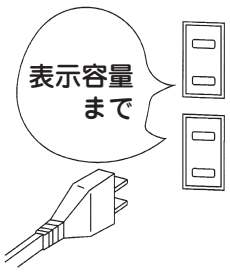
⚠ 警告	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

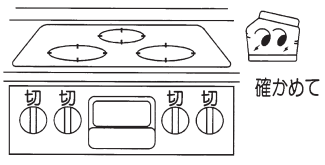
	このような図記号は、商品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、商品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

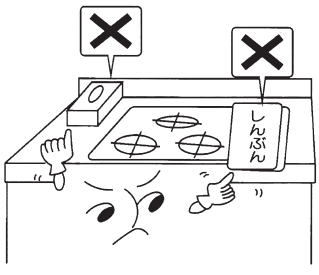
◎照明・水切り棚タイプアイエリア吊戸棚の電源コンセントでは、1200Wを超える電気器具を使わないでください。
発熱により、火災の原因になることがあります。



◎調理機器の使用後やお出かけのときは、スイッチが「切」になっていることを確かめてください。
周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。



◎調理機器の上や周りには、燃えるものを絶対に置かないでください。
スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。

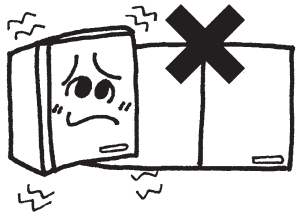


安全にお使いいただくために

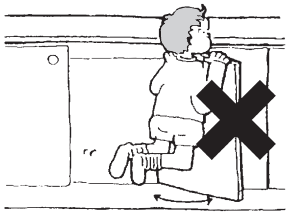
⚠ 注意

◎扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番（ちょうばん）のねじを締め直してください。
扉が落ちて、けがをするおそれがあります。

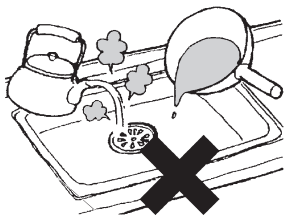
※扉の調整のしかた：9ページ参照。



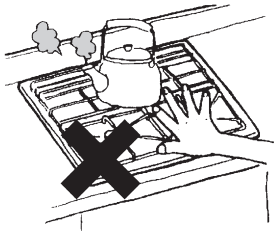
◎扉や取っ手、および引き出しにぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください。
扉や取っ手、および引き出しが外れて、けがをするおそれがあります。



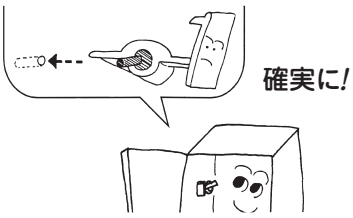
◎てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。
排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。



◎調理機器の使用中や使用直後は、調理機器周辺に手を触れないでください。
放熱する熱などで熱くなり、やけどのおそれがあります。



◎棚受けダボは確実に奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、けがをするおそれがあります。



◎吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下記の重さを目安としてご使用ください。また、収納物を平均に載せるようにしてください。
重量が下記の限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引き出しの破損につながったり、載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。

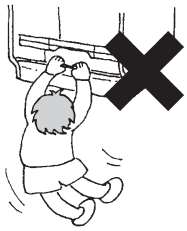
棚板1枚……限度約200N（約20kg）（直径26cm大皿〈約7.5N（約750g）〉×25枚程度）
引き出し1段……限度約50N（約5kg）
隅調理台（回転棚1段）……限度約100N（約10kg）

安全にお使いいただくために

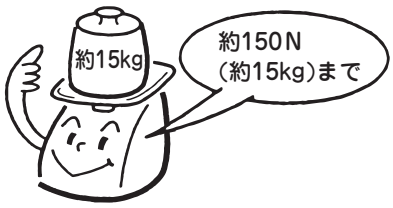
⚠ 注意

◎ムーブダウン吊戸棚の昇降ハンドルには、ぶら下がったり登ったりしないでください。
収納ラックが落ちてけがをするおそれがあります。

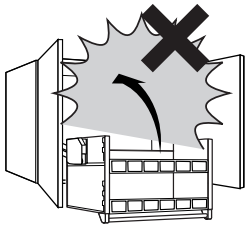
※ムーブダウン吊戸棚の使い方は、12〜13ページをお読みください。



◎ムーブダウン吊戸棚への収納は、約150N（約15kg）を目安としてご使用ください。
重量限度以上収納すると、収納ラックが変形・落下し、けがをするおそれがあります。

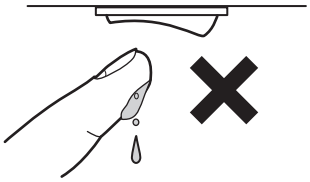


◎ムーブダウン吊戸棚のバネ切り替えレバーは、収納重量に対して適切にセットしてください。
収納ラックが勢いよく戻ったり急降下して、収納物が落下したり、収納ラックが変形・落下し、けがをするおそれがあります（収納量により、操作が重く感じられます）。



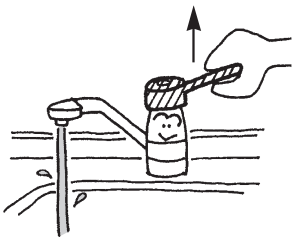
◎包丁（ほうちょう）差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直してください。
包丁差しが外れてけがをするおそれがあります。

◎ぬれた手で電気製品を操作しないでください。感電や、故障のおそれがあります。



水　栓

◎混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください。
水栓および熱湯で、やけどをするおそれがあります。
特に、小さいお子様のいらっしゃるご家庭では気をつけてください。



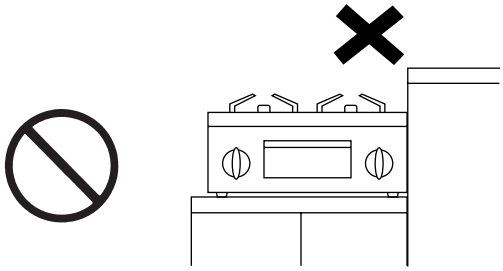
安全にお使いいただくために

⚠ 注意

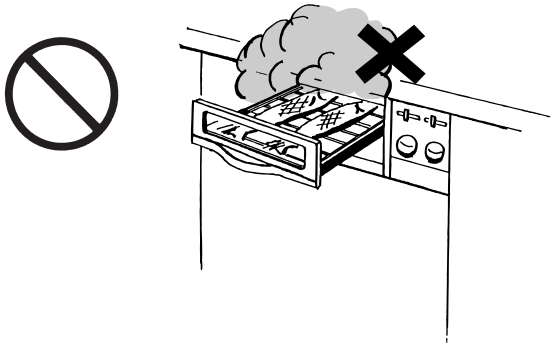
組込機器類など

◎キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などについては、それぞれの商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項をお守りください。
使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

◎流し台や調理台の天板より低いガステーブル（コンロ）を設置しないでください。
ガステーブル（コンロ）の熱により、流し台などが加熱し、火災の原因になることがあります。



◎調理機器のグリル扉を開けたまま、グリルを使わないでください。
機器上部が変色したり、ワークトップが焦げたり破損したりすることがあります。



洗剤類

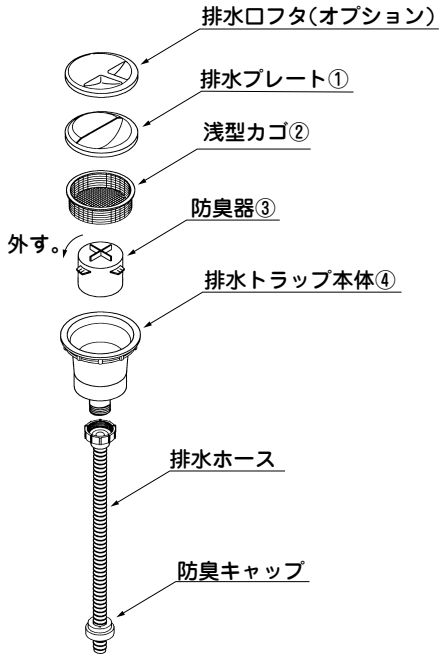
◎台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項をお守りください。
使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類がいたみ、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。

◎固形または粉末の塩素系洗浄剤(ヌメリ取り剤など)・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびさび発生の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。
その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

ご使用方法について

■排水トラップの使い方

部品が揃っているかお確かめのうえ、下図の順に設置してください。



⑴排水トラップの役割は、調理クズを一時的にためておくことと、排水管からの悪臭を防止することです。

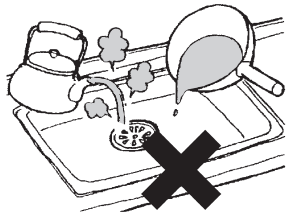
⑵)浅型カゴ②は、調理クズを一時ためておくところです。

⑶防臭器③は、排水管からの悪臭を防止するところです。

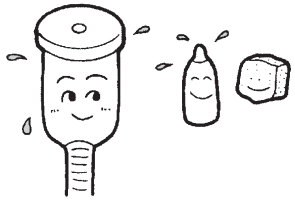
※ゴミ処理および掃除の際は、①～③の順序で取り外してください。

※防臭器③は、反時計回りに回すと、簡単に取り外すことができます。

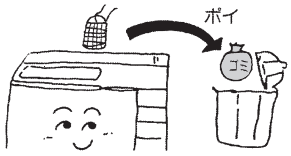
◎てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。
排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。



●排水トラップ本体④､浅型カゴ②､排水プレート①は、週に１回以上中性洗剤を使用して汚れを落としてください。



●収納したゴミは、半日以上ためると悪臭が発生する原因になりますので、こまめに捨ててください。



◎清掃時以外は、必ず防臭器③をつけていてください。防臭器がついていないと、排水管から悪臭が流入するおそれがあります。

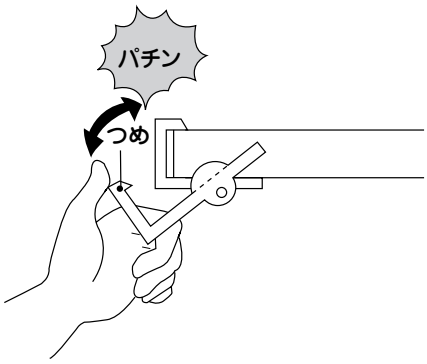
ご使用方法について

■棚板の取り外しと取り付けのしかた

●棚板の取り外し方

⑴前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで手前へ強く引いてください。

⑵棚板を前へ引いて取り外してください。



●棚板の取り付け方

⑴右図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込んでください。

※幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

※差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分にあたり、棚受けダボが破損するおそれがあります。

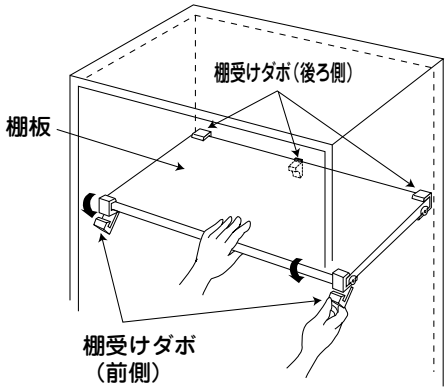
※棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。
棚板のガタつきの原因になります。

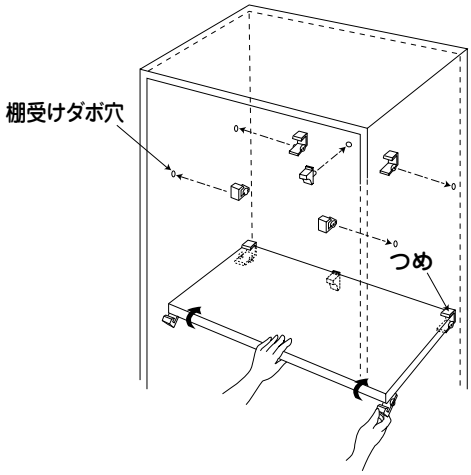
⑵まず、後ろ側の棚受けダボのつめに棚板をしっかりとはめ込んでください。

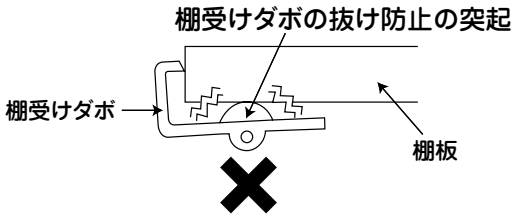
⑶棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げてください。
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

⑷棚板にガタつきがないか、確認してください。

※ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。



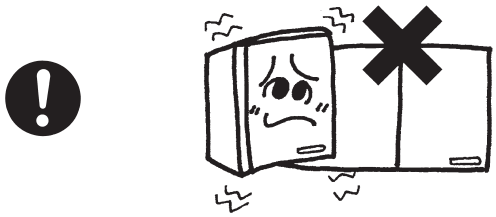




ご使用方法について

■扉の調整のしかた

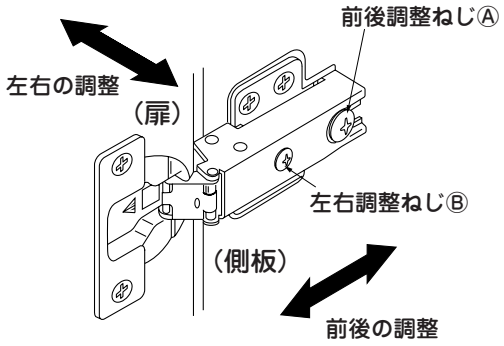
◎扉を調整する場合は、ねじのゆるめすぎに気をつけてください。ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、けがをするおそれがあります。



●前後調整のしかた

前後調整ねじⒶをゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじⒶをしっかり締め付けてください。
扉が前後に動かない場合は、左右調整ねじⒷを少しゆるめてください。

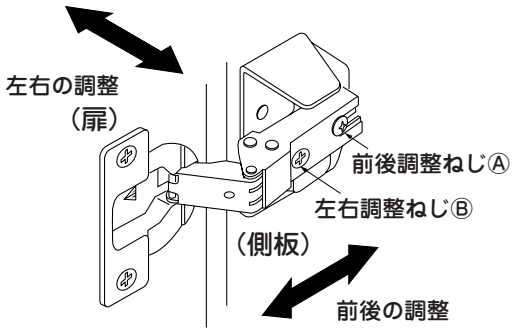
〈木製キャビネットの場合〉



●左右調整のしかた

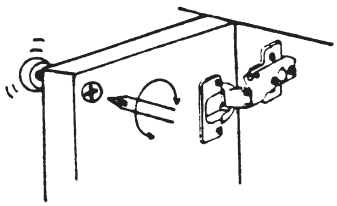
前後調整ねじⒶを締めたまま調整してください。左右調整ねじⒷを反時計回りに回すと側板と扉の間隔は狭くなり、時計回りに回すと側板と扉の間隔は広くなります。
調整終了後、必ず前後調整ねじⒶをしっかり締め直してください。

〈ステンレス製キャビネットの場合〉



■取っ手の調整のしかた

●取っ手のねじがゆるんだときは、⊕ドライバーでねじを締め付けてください。

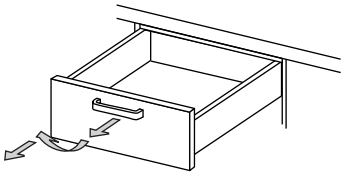


ご使用方法について

■引き出しの脱着・引き出し前板の調整のしかた

●引き出しを外すときは、収納物を出して外してください。
予想以上に重い場合があります。

⑴樹脂製引き出しの場合

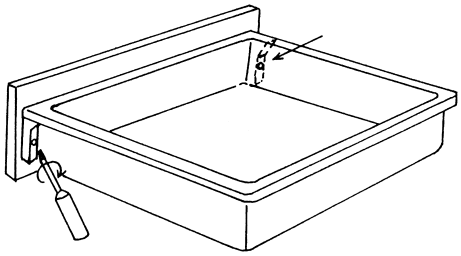


●引き出しの脱着のしかた

①引き出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引くと外れます。

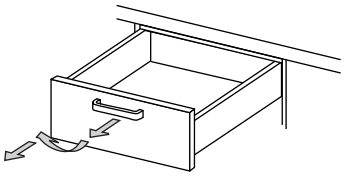
②引き出しを取り付けるときは、①と逆の手順で取り付けてください。

●引き出し前板の調整のしかた



● 引き出しの外側の引き出し前板を固定している3本あるねじの中央のねじを⊕ドライバーでゆるめてください。次に、引き出し前板の位置を調整し、ねじを締め直してください。ねじのゆるめすぎには気をつけてください。引き出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。

⑵金属製引き出しの場合（2段引き出しコンロ台のみ）



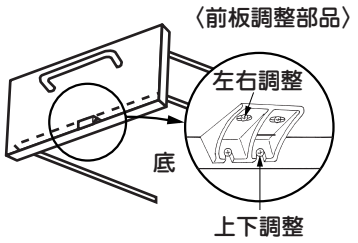
●引き出しの脱着のしかた

①引き出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引くと外れます。

②引き出しを取り付けるときは、①と逆の手順で取り付けてください。

●調整の前に

扉裏面と引き出し底板に前板調整部品がついています。
引き出し調整の際は、必ずねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。



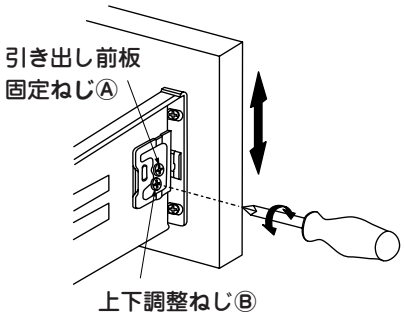
●引き出し前板の調整のしかた

● 上下調整

①引き出し両側面にある引き出し前板固定ねじⒶを⊕ドライバーでゆるめてください。

②上下調整ねじⒷで引き出し前板の位置を調整してください。

③引き出し前板固定ねじⒶを締め直してください。



◎ねじのゆるめすぎには気をつけてください。
引き出し前板が落下して、けがをするおそれがあります。

ご使用方法について

■引き出しの脱着・引き出し前板の調整のしかた（つづき）

⑵金属製引き出しの場合（つづき）

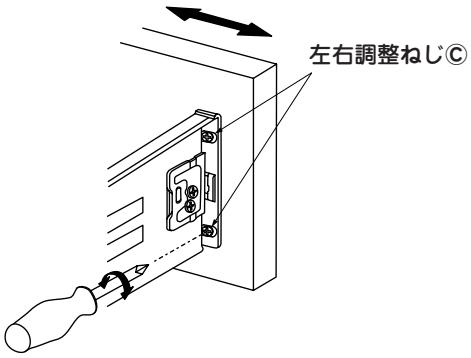
●引き出し前板の調整のしかた（つづき）

● 左右調整

①引き出し両側部にある計4本の左右調整ねじⒸを、⊕ドライバーでゆるめてください。

②引き出し前板の位置を調整してください。

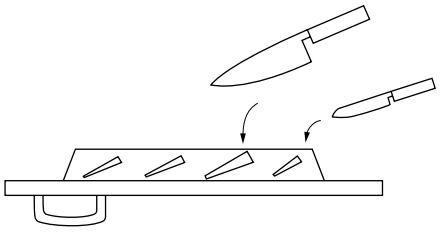
③4本の左右調整ねじⒸを締め直してください。

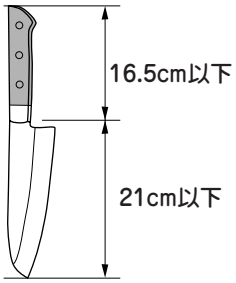


■包丁差しの使い方

●包丁（ほうちょう）差し込み口は、3タイプあります。出刃包丁などの刃の厚さがある包丁は、厚さの太い方（右から2つめ）に収納してください。小さい果物ナイフなどは、厚さの薄い方（右端）に収納してください。

●包丁は、全長37.5㎝以下、柄の長さ16.5㎝以下、柄の下端（したば）から刃の先まで21㎝以下のものが収納できます。



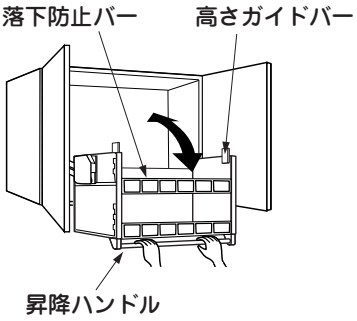


◎確実に包丁を差し込んでください。扉を開けたときに包丁がガタつき、思わぬけがをするおそれがあります。

ご使用方法について

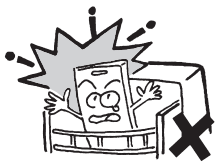
■ムーブダウン吊戸棚の使い方

●両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。落下防止バーを持って引き出さないでください。
落下防止バーが外れたり、曲がったりするおそれがあります。
収納ラックをキャビネット内に入れる場合は、昇降ハンドルを押し上げてください。底を持ってキャビネット内に入れると、手をはさむおそれがあります。

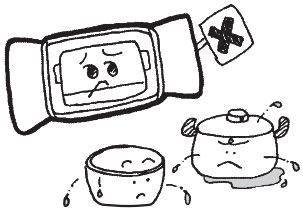


●収納ラックを引き出す場合は、勢いよく引き出さないでください。
収納物の落下の原因や機構部の故障の原因になります。

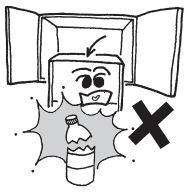
●収納物が高さガイドバーより上へ出ないようにしてください。ビンなどの不安定なものや、包丁（ほうちょう）・薬品などの危険なものを収納しないでください。
収納物が落ちてきて、けがをしたり、収納ラックが破損したりするおそれがあります。



●割れやすい食器や、ぬれたものを収納しないでください。
さびの原因になります。



●収納ラックが降りてくる範囲には、背の高いものや突起物を置かないでください。
収納ラックとぶつかり、破損するおそれがあります。

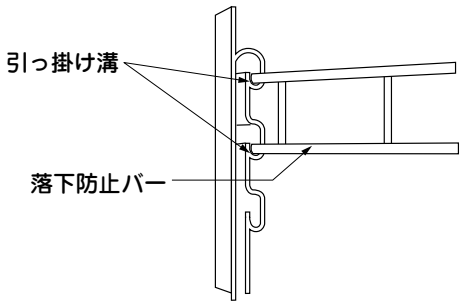


●調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しないでください。
頭などをぶつけるおそれがあります。

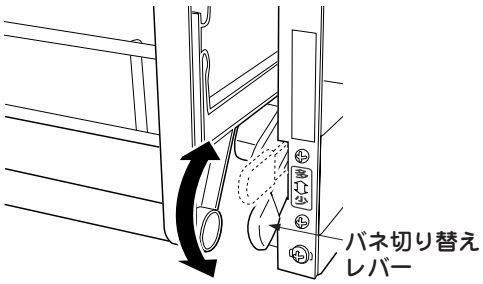
■ムーブダウン吊戸棚の使い方（つづき）

●収納物の落下防止のために、必ず落下防止バーを掛けてください。

●収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。
落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、上下に移動させてください。
位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れてください。



●使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右ともに「少」の位置にしてから、引き下ろしてください。
それ以外の位置では、操作が重く感じます。



●下の表を目安にバネ切り替えレバーを収納量に応じて調節し、適切な範囲で使用してください。
また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

●収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。

収納重量 ＼ レバー	左レバー	右レバー
約0～50N（約0～5kg）	少	少
約50～100N（約5～10kg）	少	多
	多	少
約100～150N（約10～15kg）	多	多

● 衝撃（しょうげき）がなく、ちょうど下まで降下する状態が、そのレバー設定の限界重量目安です。

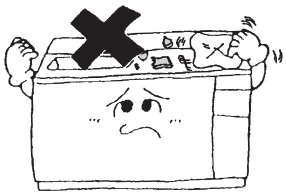
■ワークトップ上に炊飯器などを置いて使う場合

●吊戸棚に直接蒸気がかかるような使い方をすると、結露（けつろ）により水滴がつく場合があります。
水滴を乾いた布でふき取ってください。

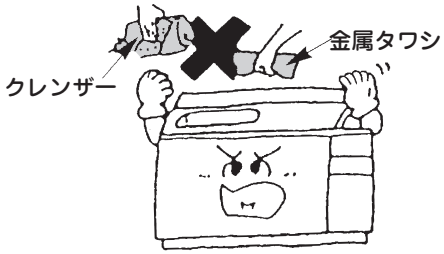
ご使用方法について

■さびやきずなどを防ぐために

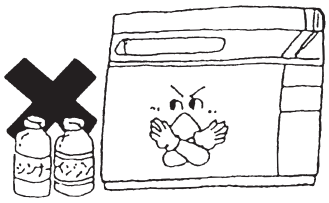
●ぬれた包丁・缶詰・塩・しょうゆなどを長時間放置しないでください。
さびの原因になります。



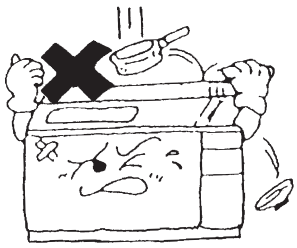
●粒子の粗いクレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらないでください。
きずがつくおそれがあります。



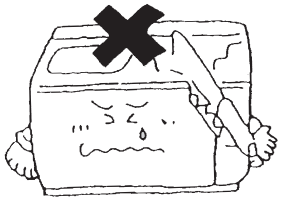
●漂白剤・硫酸・塩酸などの強酸、シンナー、ベンジンなどの溶剤によるお手入れは避けてください。
変質・変色する場合があります。
また、扉や取っ手のお手入れには家具用ワックス、シンナー、ベンジン、かびとり剤などを使用しないでください。変色したり、つやや光沢がなくなることがあります。



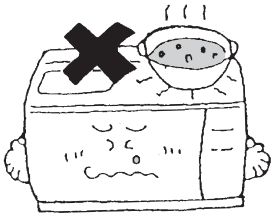
●本体およびワークトップに強い衝撃をあたえないでください。また、ワークトップに乗るようなことはおやめください。
破損の原因になるおそれがあります。



●ワークトップをまな板がわりに使用しないでください。
きずがつくおそれがあります。



●熱い油なべ、沸騰したやかんなど、熱いものをワークトップの上に直接置かないでください。
変色・変形・ふくれ（ステンレス製ワークトップの場合は、裏面接着剤のはがれによる）などのおそれがあります。
万一、置く場合は、なべ敷きなどを使用してください。



お手入れ方法について

■木製キャビネット、扉のお手入れ

●通常のお手入れは、柔らかい布でからぶきしてください。

●汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とします。次に、水を含んだ布で洗剤をふき取り、その後、乾いた布でからぶきしてください。

※家庭用ワックスは、変色の原因になる場合がありますので、使用しないでください。

※有機溶剤ではふかないでください。塗装が取れる場合があります。

※扉に付着した水滴は放置しないでください。扉の変色・変質（ふくれなど）の原因になります。

■ステンレスキャビネット、ステンレスシンク、ステンレスワークトップのお手入れ

通常の汚れ ➡	中性洗剤（またはせっけん液）をスポンジ、または水を含んだ布につけて、強めにふいてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤をふき取り、最後に乾いた布でからぶきしてください。
落ちにくい汚れ ➡	粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）を用いてください。 仕上げは、通常の汚れの場合と同様です。

■樹脂部品のお手入れ

●薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤をふき取り、その後、からぶきしてください。

●洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分を付着したまま放置すると、ひびや破損の原因になる場合がありますので、必ずふき取ってお手入れをしてください。

●油脂類、シンナー、酸性・塩素系洗剤などは使用しないでください。
ひびや破損の原因になるおそれがあります。

お手入れ方法について

■丁番のお手入れ

●丁番（ちょうばん）は、ときどき汚れやほこりを取り除いてください。
また、ときどき潤滑油などを注油していただくと、開閉がなめらかになります。

■機器類のお手入れ

●レンジフードのお手入れ

- レンジフードは汚れやすいところです。こまめにお手入れしてください。お手入れ方法は、はじめに薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤をふき取り、その後、乾いた布でからぶきしてください。
- グリスフィルターは、月に１回以上お手入れしてください。お手入れ方法は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で汚れを落とし、水ですすぎ洗いをして乾かしてください。
- 詳しくは、レンジフードに付属の取扱説明書をお読みください。

●調理機器のお手入れ

- トッププレートは、薄めた中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分に水気をふき取ってください。
- バーナーキャップのお手入れは、柔らかめの歯ブラシや柔らかいスポンジを使ってください。水洗いした後、必ず柔らかい布で水気をふき取ってください。
- 詳しくは、調理機器に付属の取扱説明書をお読みください。

■その他の機器のお手入れ

●各機器に付属の取扱説明書をお読みください。

修理を依頼するとき

●この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検していただき、異常のあるときは、工事店・販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでお申し出ください。
また、ご連絡いただく際は、キャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.もあわせてお知らせください。

《キャビネット貼付シール》

検査済証 クリナップ株式会社
機 種 名

C S No.

ロットNo.
検 査 員

※CSNo.は、
記載されていない
場合もあります。

《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	☎

廃棄処分について

●この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

保証書について

保　証　書

シリーズ・品番	ステンキャビキッチン、木キャビキッチン クリンウッドシリーズ	出張修理

保証期間	1年間	★お買い上げ日	年　月　日
★お客様 ご住所	□□□-□□□□		
★お客様 お名前	様　TEL　（　）		
★販売店 住所 店名	TEL　（　）		㊞ または サイン

★印欄は販売店にて記入いたします。

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

記

本書は、以下の記載内容に基づき、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1. 商品の取扱説明書、商品本体の貼付ラベルなどの注意書きを順守された正常なご使用状態で、保証期間中に故障・損傷した場合には、お買い上げの販売店または下記カスタマーセンターに修理をご依頼ください。
   保証期間中は無料修理となりますので、修理に際しては、必ず本書をご提示ください。
2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、またアフターサービスについてご不明な点などございましたら、お買い上げの販売店または下記カスタマーセンターにご相談ください。
3. なお、次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
   ⑴本書のご提示がない場合。
   ⑵本書の字句が書き換えられた場合や、検査済証がはがされた場合。
   ⑶ご使用上の誤り、および不当な修理や改造により故障・損傷した場合。
   ⑷犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為により故障・損傷した場合。
   ⑸お買い上げの後の落下や輸送により故障・損傷した場合。
   ⑹火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変により故障・損傷した場合。
   ⑺一般家庭用以外の用途（たとえば、業務用など）により故障・損傷した場合。
   ⑻車両・船舶などへの設置・使用により故障・損傷した場合。
   ⑼故障の原因が、設置方法、建築躯体（くたい）、関連設備およびそれらの工事など商品以外にある場合。
   ⑽地方条例に基づく飲料水以外の水を使用した場合。
   ⑾水栓類などのパッキンや電球などの消耗品が故障・損傷した場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店または下記カスタマーセンターにご相談ください。
6. 離島および離島に準じる遠隔地からの修理ご依頼の場合は、保証期間内であっても、出張に要する実費を申し受けます。
7. ご注意事項
   ⑴電気機器、ガス調理器、洗面化粧台ミラーキャビネットなど、関連機能商品については、それぞれの取扱説明書に添付されている保証書の記載内容などによります。
   ⑵弊社商品に他社商品が組み込まれた場合の保証については、その製造者の保証書が適用され、本書は適用されません。

お客様へ この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口：カスタマーセンター　TEL　0120-126-174

住まいの夢を創る
クリナップ株式会社
東京都荒川区西日暮里6-22-22　〒116-8587　TEL03(3894)4771

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●アフターサービス・消耗品・オプション部品のご用命

0120-126-174 通話料無料

クリナップカスタマーセンター

ご依頼の際は、以下の内容をお知らせください。

●検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo. ●症状

●ご購入年月日 ●お名前・ご住所・お電話番号

受付時間：

平日受付　9:00～20:00（月曜日～金曜日）

休日受付　9:00～18:00（土曜日、日曜日、祝日）

ただし、1月1日（元日）は休ませていただきます。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。
あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針はhttp://cleanup.jp/に公表しております。

レンジフードフィルターなどの訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

住まいの夢を創る
クリナップ株式会社
東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL03（3894）4771

0806A-20-01